

No.86	内容を反映した題名：題名をみて大まかに内容が想像できるものが良い(特異性を示す) Key Word 3つぐらい入れると良い
-------	--

症例発表のPoint (査読票)

- 【はじめに、目的】**  
 内容の背景: 一般的な治療方法や主要因の**関連知見**  
 内容の目的: 発表の**目的** (～を目的とした。発表の目的は～を検討することである。など)を明確に示す
- 【対象】**  
 症例や対象者を**推測できる情報は掲載しない**(×H30.12.23にラクナ梗塞を呈した。)  
 症例の情報は**最小限**でわかりやすく**過去形**で明記する  
 **病態解釈**は明確にする。別項目を作ってよい。  
 なぜ当該症例における治療法を選択するに**いたったのか**を記載する  
 **体言止めをしない**(×症例は男性。→○症例は男性である。)  
 \*説明と同意の項目がない場合には、ここで明確化する (例:対象者には発表の説明を行い同意を得た。)
- 【方法】**  
 方法は追試できるように**明確に**記載する  
 介入方法、介入期間、介入頻度、治療課題、解析方法を端的に説明する
- 【結果】**  
 治療結果を**客観的かつ明確に**記載する  
 結果に至る**経過・期間**を記載する(方法で経過を記載するときがある→治療内容の変遷がある場合など)  
 (体裁によっては、治療期間を記載する場合がある)
- 【考察】**  
 治療仮説から治療方法による結果を端的に**理論展開**する (→治った、治らなかったこと)  
 考察は結果に基づいて行うものであり、結果から離れて推論を重ねることは避ける:**飛躍的考察は一番嫌われる!**  
 過去の知見や方法から内容の**妥当性や裏付け**をする  
 報告する症例からどのようなことが**今後**に生かせるかを示す  
 本症例から得られた**問題点や今後の課題**等も記載する(本発表の限界は～である。など)
- 【倫理的配慮、説明と同意】**※この項目がある場合、作った場合  
 対象者への同意と倫理審査委員会の承認があれば記載する  
 例:当院倫理審査委員会の承認を得て実施した(承認番号)。また、対象者に書面で説明と同意を行った。  
 例:ヘルシンキ宣言に基づき、症例と母親に対して書面にて発表の説明を行い同意を得た。  
 例:当院倫理規定に準じて管理され匿名化された既存データを用いて後方視的に調査した。  
 例:個人情報取り扱いに注意して匿名性を遵守した。

〔判定〕 A:十分満たされている      B:ほぼ満たされている      C:不十分

総合判定	倫理性	創造性(独創性・発展性)	科学性(客観性・再現性・普遍性)
A	A	A	A

コメント: 査読者の主観的な助言や感想が記載される。  
 ※必ず従うことはない。査読者も完璧ではない。修正返信が必要な学会ではコメントに従わない理由を明記する必要がある。

**メジャーPOINT**: 研究や内容、抄録の流れなど演題の根本的な内容を修正する視点  
**マイナーPOINT**: 内容の誤字脱字、抄録記載の形態など抄録作成を修正する視点

- 文章表現:  
 「～と信じる」「～と確信する」「～と思う」「～と感じた」等の主観的な表現を用いてはいけません  
 差別的な表現(性別、人種などの)や「～の失敗」等 社会的な表現を用いてはいけません  
 →問題事例あるいは合併症等の表現を用いてください